

第 80 回北摂小児科医会プログラム

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）15 時 00 分～18 時 00 分

場所：伊丹市立産業・情報センター 4 階 会議・研修室 A

〒664-0895 伊丹市宮ノ前 2-2-2 Tel 072-773-5007(代表)

- *一般演題 ご発表の先生方へ：1 演題ご発表 7 分・質疑応答 5 分を予定しております。
- *ご聴講の先生方へ：会場設営の都合上、14 時 40 分より開場となりますことご容赦願います。

同会は、日本小児科学会認定医研修集会として認定されております。（3）単位
日本医師会生涯教育システム登録研修として申請しております。

共催：北摂小児科医会
一般社団法人 日本血液製剤機構（J B）

第 80 回北摂小児科医会 プログラム

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）15 時 00 分～18 時 00 分
場所：伊丹市立産業・情報センター 4 階 会議・研修室 A
〒664-0895 伊丹市宮ノ前 2-2-2 TEL 072-773-5007（代表）

◇ 話題提供（14:50～15:00）

「献血ポリグロビンN静注 10%について」

一般社団法人 日本血液製剤機構

◇ 一般演題 第 I 部（15:00～16:00） 座長 藪田 玲子 先生（市立伊丹病院 小児科 部長）

1) 『両側水腎水尿管症による急性腎不全を呈した新生児の一例』

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科¹⁾・小児外科²⁾

○江里口 光太郎¹⁾ ²⁾、花田 知也¹⁾、松田 浩一¹⁾、豊田 将平¹⁾、河内 晋平¹⁾、山上 雄司¹⁾

加藤 隆宏¹⁾、高原 賢守¹⁾、菅 健敬¹⁾、青木 光²⁾、渡邊 健太郎²⁾、高田 斉人²⁾、片山 哲夫²⁾

症例は生後 17 日の女児。来院 5 日前に発熱を主訴に近医から前医紹介となり、急性腎盂腎炎、急性腎不全の診断で入院の上抗菌薬加療開始された。エコー上両側水腎水尿管症がみられ、入院後腎機能障害、K 上昇、代謝性アシドーシスを認めたため、加療目的に当院へ転院となった。当院到着後、進行する腎不全に対して気管挿管の上持続的血液透析を直ちに開始した。当院入院後の経過につき報告を行う。

2) 『低血糖を呈した小児喘息患者の 1 例』

箕面市立病院 小児科¹⁾、つちたにこどもクリニック²⁾

○橋本 和久¹⁾、土谷 之紀²⁾、天羽 竜子¹⁾、櫻井 美帆子¹⁾、山田 知絵子¹⁾、東 純史¹⁾、木島 衣理¹⁾、金野 浩¹⁾、溝口 好美¹⁾、下辻 常介¹⁾、山本 威久¹⁾

吸入ステロイドによる急性副腎不全と考えられた 1 例を報告する。【症例】5 歳女児。在胎 30 週 3 日 1230g と早産・極低出生体重児で出生し、肺動脈閉鎖症に対する根治術を受けた。気管支喘息に対して近医でフルチカゾン 400 μ g 及びプランルカストにより治療されていた。低血糖（血糖 15mg/dl）に起因する痙攣重積発作を発症した。下垂体・副腎機能の精査目的に当院紹介され、負荷試験では著明な副腎機能抑制を認めた。フルチカゾンを中止、シクレソニドへの変更・減量後、再度負荷試験を施行したところ副腎機能の改善傾向を認めた。

3) 『川崎病に対して免疫グロブリン大量療法を行った後に

原因不明の発熱・発疹を認めた 2 例』

市立池田病院 小児科

○上野 圭司、尾崎 由和、滝沢 祥子、篠原 京子、新谷 研

川崎病に対して免疫グロブリン大量療法を行い、いったん症状が改善した後に、川崎病の再発とは考えにくい発熱と発疹を認めた 2 症例を経験した。この 2 症例は経過が異なる部分もあるが、発熱・発疹を生じた時期や発疹の性状、血液検査データ（白血球の減少、CRP の軽度上昇）などに類似した点を認めた。発熱・発疹の原因は不明だが、同様の症例報告や免疫グロブリン投与後の副作用調査の結果と比較して考察する。

4)『腎外症候性急性糸球体腎炎の2例』

市立伊丹病院 小児科

○川村 孝治、村西 加奈子、小西 暁子、中野 さやか、神尾 範子、中里 寿美子、藪田 玲子、
有田 耕司、三木 和典

溶連菌感染後の腎外症候性糸球体腎炎の2例を経験した。1例は13歳男児で、心不全を合併していた。ASKの著明な上昇、アトピー性皮膚炎の存在より、溶連菌の経皮感染が主因と考えられた。もう1例は9歳女児で、ASO上昇、咽頭溶連菌迅速検査陽性であった。腎外症候性腎炎は尿所見異常を認めない、もしくは軽微で、腎外症状である浮腫や高血圧が主症状で溶連菌感染後糸球体腎炎の亜型と考えられている。文献的考察を含め報告する。

5)『肺炎球菌性敗血症を合併したネフローゼ症候群の1例』

晋真会 ベリタス病院 小児科¹⁾、兵庫医科大学 小児科²⁾、兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科³⁾

○前川 講平¹⁾、末廣 穰³⁾、柴野 貴之²⁾、井上 岳彦¹⁾、服部 益治²⁾、竹島 泰弘²⁾

小児ネフローゼ症候群の管理は進歩し、重症感染症での死亡はほぼみられなくなったが、致命的な合併症の1つであり、早期の診断、治療が重要である。今回、我々は5才の初発のネフローゼ症候群男児の治療中、肺炎球菌による重症感染症を呈し、早期の治療を行い奏功した一例を経験した。後にニューモキャッチ研究による血清型検索では15Aと同定した。今回、我々が経験した侵襲性肺炎球菌感染症について文献的考察を含めて報告する。

----- ブレークタイム (16:00~16:05) -----

◇ 一般演題 第Ⅱ部(16:05~16:45)

座長 三木 和典 先生(市立伊丹病院 小児科 主任部長)

6)『カテーテル関連血流感染から発症したと思われる腸腰筋膿瘍の一例』

市立豊中病院 小児科

○奥廣 有喜、松田 百代、鞍谷 沙織、平野 翔堂、中村 千華、左 信哲、橋本 泰佑、古家 信介、
山本 浩継、河津 由紀子、宮下 恵実子、吉川 真紀子、徳永 康行、茶山 公祐

新生児期のカテーテル感染、MRSA菌血症を原因とする腸腰筋膿瘍を反復している1例を経験したので報告する。症例はNICU入院中にカテーテル感染、MRSA菌血症を来しVCMで加療を行った。1歳時に腸腰筋膿瘍を発症しCTXで加療を行った。画像上の寛解を得られぬまま経過し2歳時に増悪、TEICを開始したが反応性に乏しく、LZDに変更し画像上の寛解を得た。計5ヶ月の投与終了から9ヶ月で膿瘍の再燃を認め、現在もLZDの内服を継続している。

7) 『川崎病治療中に NSAIDs 起因性大腸炎を発症した 1 例』

大阪府済生会千里病院 小児科¹⁾・消化器内科²⁾

○池添 達朗¹⁾、吉田 敏子¹⁾、谷本 和哉¹⁾、森本 恭子¹⁾、瀬戸 眞澄¹⁾、水野 龍義²⁾

症例は 4 カ月男児。発熱を主訴に前医受診。第 3 病日、川崎病を疑われ紹介受診。

主要症状 5 項目を満たし、川崎病と診断。同日より IVIG とアスピリンにて治療を開始。第 4 病日に血便が出現。その後川崎病の再燃あり、断続的に血便を認めた。第 31 病日に下部消化管内視鏡検査を施行し、結腸に多発するアフタを認めた。アスピリンを中止し血便は改善した。

川崎病治療中に NSAIDs 起因性大腸炎を発症した 1 例について文献的考察も交えて報告する。

8) 『当院におけるびまん性内在性橋神経膠腫に対する取り組み』

大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児血液腫瘍科

○藤崎 弘之、石井 裕子、中村 さやか、山崎 夏維、仁谷 千賀、岡田 恵子、原 純一

びまん性内在性橋神経膠腫は、放射線治療が唯一有効性の確立した治療である一方、効果が証明された化学療法はなく、全生存期間の中央値は 1 年未満、2 年全生存率は 6-10%に留まる。この予後絶対不良の疾患に対して、近年治療期間を短縮して患者 QOL を改善する目的で寡分割放射線治療の有用性が報告され、当院でも先駆けて実施してきている。その治療経験を報告するとともに、今春より実施している新規治験についても紹介したい。



----- コーヒータイム (16 : 45～16 : 55) -----



◇ 総 会 (16 : 55～17 : 00)

◇ 特別講演 (17 : 00～18 : 00)

座長 三木 和典 先生 (市立伊丹病院 小児科 主任部長)

『 小児内視鏡外科手術における最近の話題 』

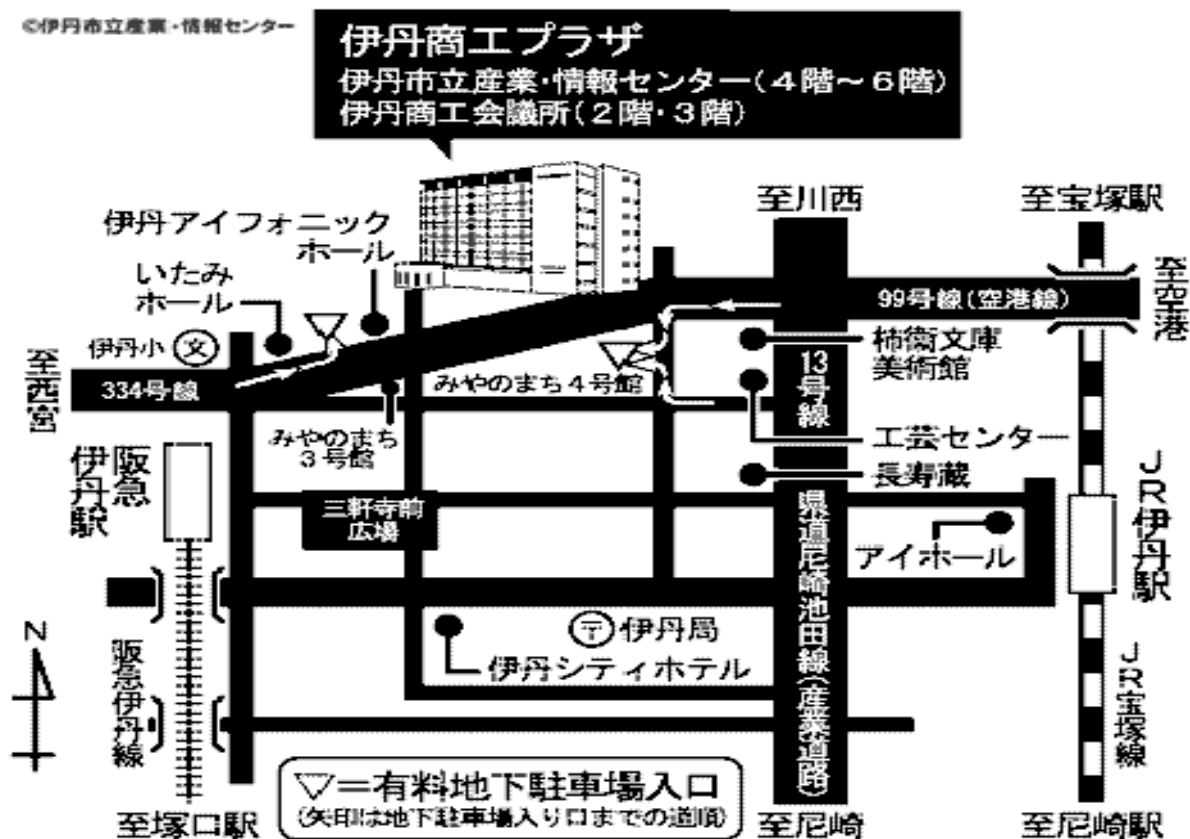
演者 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 小児成育外科学

教授 奥山 宏臣 先生

近年、小児においても多くの疾患に内視鏡外科手術が適応されるようになってきた。日本内視鏡外科学会のアンケート調査や診療ガイドラインをもとに、本邦における小児内視鏡手術の現状を紹介する。

また、鼠径ヘルニア、虫垂炎、腸重積といった日常疾患に加えて、今年度より保健収載された食道閉鎖症や胆道拡張症に対する手術を供覧し、その成績を報告する。整容性や低侵襲性の点から長期予後の改善が期待でき、今後小児領域においても内視鏡外科手術の役割はより一層大きくなってゆくと考えられる。

【会場までの案内図】



JR 伊丹駅／阪急伊丹駅から徒歩でご来場の場合

- ◆ 阪急伊丹駅から約 7 分
- ◆ JR 伊丹駅から約 8 分

JR 伊丹駅からバス乗車でご来場の場合

- ◆ JR 伊丹駅バス乗場 5 番より、25 番系統(大阪国際空港(伊丹空港)行き)に乗車して頂き、阪急伊丹駅経由 宮ノ前バス停留所にて下車すぐです。

阪急伊丹駅からバス乗車でご来場の場合

- ◆ 阪急伊丹駅バス乗場 6 番より、25 番系統(大阪国際空港(伊丹空港)行き)に乗車して頂き、宮ノ前バス停留所にて下車すぐです。

お車でご来場の場合

- ◆ 当センターの駐車場はございません。伊丹市立宮ノ前地区地下駐車場(有料)をご利用下さい。

《30 分毎 150 円／1 日最大駐車料金 1500 円》